

第1回 ポリナビワークショップin福島 開催のお知らせ

ポリナビとは、「政治」「政策」の学びを通して自分たちに出来ることを模索し、日本の保健医療福祉を今よりステキなものにすることを目指す20~30歳代ナースの集まりです。
楽しい仲間を増やしましょう。

ポリナビ=Politic Navigator's Network



期日 平成22年3月21日(日)

会場 郡山市労働福祉館 大ホール

時間 12時30分受付
13時30分~16時30分

主催 福島県看護連盟青年部

参加は
無料です

たくさんの、
ご参加を
お待ちして
あります。



詳細はホームページをご覧ください



メールアドレスを教えてください

「たかがい恵美子と未来を創る会」では、メールマガジンを通じ様々な情報提供やたかがい恵美子からメッセージを直接皆様にお届けします。「情報が欲しい!」「たかがい恵美子を応援したい!」という方は、メールアドレスをぜひ教えてください。メールマガジンは無料でお送りいたします。

いただいた情報は、個人情報保護法の指針にのっとり安全に管理します。また今後の活動のために有効に利用させていただきます。

編集後記

皆様あけましておめでとうございます。いよいよ第22回参議院議員選挙の年を迎えるました。私達の代表“たかがい恵美子”さんの当選を勝ち取るために、皆様への広報活動にますます力を入れていきたいと思います。

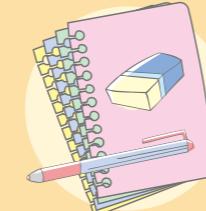
事務局から

皆様、会員の
更新手続きは
お済みでしょうか?
お忘れの方は
早目に手続きを
お願いします。



広報委員メンバー

副会長	服部 薄武	幸公	子子
幹事長	大鈴 深	田内	美子
委員長	木谷	木谷	ひす
委員会委員	谷	治京	美が
委員会委員	深	ひと	が



福島県看護連盟だより

ふくしま

F U K U S H I M A

私たちの代表“たかがい恵美子”を 必ず当選させましょう

新年 賀



看護職の代表!



目次

contents

- 日本看護連盟 会長 平成22年 新年のあいさつ P2
- 福島県看護連盟 会長 平成22年 新年のあいさつ P3
- 福島県看護協会 会長 平成22年 新年のあいさつ P3
- ステップ開催報告「たかがい恵美子と未来を創る会」 P4~P5
- 国会見学報告 P6
- 県別会議報告 ●会員の窓 あおぞら P7
- 第1回 ポリナビワークショップin福島 開催のお知らせ P8
- 事務局から ●編集後記 P8

看護の心を、みんなの心に



ハートを擦ると
さくらの香りがします。

| 日本看護連盟 会長 | 平成22年 新年のあいさつ

日本看護連盟
会長 清水 嘉与子



明けましておめでとうございます。
いよいよ看護連盟の命運を決するとも言える参議院議員選挙の年になりました。
昨年6月看護連盟会長就任後の初仕事は、8月の総選挙で岡山3区の阿部俊子さんを再選させるということ。
こちらは成功したものの、わが国に二大政党を誕生させるという結果となりました。早速夏の参議院選挙の対応について全国会長会議で協議し、今後のあり方については要検討としても、今回は日本看護連盟は規定方針通り自民党公認を得て選挙を戦うという強い意思確認ができました。

確かにこれまで以上にハードルが高くなると思われますが、力を合わせれば目的達成は十分に可能です。たかがい恵美子さんは看護界ではなかなか得がたい素晴らしい候補者です。その魅力をできるだけ多くの人に広げてもらいたいと願っております。

世界一の長寿社会を達成したわが国で、国民の最大の関心事は高齢者の医療・看護や福祉問題です。医療技術の進歩が人々の寿命を延ばすことに貢献している実態は驚くばかりです。しかし病気があってもできるだけ住み慣れた家に住み続けたいとか、より自分らしく人生を終えたいとか、適切なターミナルケアを受けたいといった人々の要請に応える政策はまだ不十分です。またより高い専門知識や技術を持つ看護師たちが増えているにもかかわらず、その能力が十分活用されていません。こうした能力を医療政策の中で適切に活用することにより、医療費の効率化にもつながることはすでに先進諸国で実証済みです。

たかがいさんには看護師たちの能力を十分活用し医療政策にも資するとともに、看護師自身のやりがいにつながるような政策提言ができる国会での活躍を期待したいと思います。

たかがいさんなら必ずその期待に応えてくれるに違いないと信じています。
今年が看護界にとって輝かしい年になりますよう、心から念じております。



| 福島県看護連盟 会長 | 平成22年 新年のあいさつ

福島県看護連盟
会長 笹原和子



明けましておめでとうございます。会員の皆様にはお健やかに新年を迎えた事とお慶び申し上げます。日頃より看護連盟活動にご協力・ご支援をいただきまして誠に感謝申しあげます。昨年は目標である「勝つ組織づくり」の結果が出るように活動してまいりました。そして今年はその結果が評価される重要な年です。

さて、21年7月の国会では念願であった保健師助産師看護師法及び人材確保の促進に関する法律の一部改正案が可決されました。これは私達看護の代表議員のご尽力により実現されたことで大変画期的なことでした。看護現場の課題を解決するためには私達の代弁者が絶対必要です。そのためには国政に代表者を送り法律を改正し、制度を作らないと現場は変革しません。看護職一人ひとりが政治に関心をもって行動することで看護の現場を変えることができます。

21年度は各地区の役員・支部役員・青年部の皆様がそれぞれ具体的に活動してまいりました。22年度は福島県の戦略の結果がどのような数値として出るか期待したいと思います。

第22回参議院比例代表候補予定者のたかがい恵美子さんは素晴らしい代表です。世界一の長寿国である日本の社会保障を充実させるために、今までのキャリアを発揮し皆様の期待に応えていただけると確信しています。

福島県看護連盟の21年度前期目標は順調な推移で実践されましたが、政権交代があり、今後看護職能団体としてどのように行動するか真摯に受け止めなければなりません。政治の力なくして看護政策の実現はありません。たかがい恵美子さんを国政に送るため、皆様方の力強いご支援をいただき精力的に活動してまいります。

福島県看護連盟の益々の発展にご協力くださいますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

| 福島県看護協会 会長 | 平成22年 新年のあいさつ

社団法人 福島県看護協会
会長 西山郁子



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、夢と希望に満ちた新春を健やかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、旧年中は看護に関する様々な分野にわたりまして、皆様の温かいご理解とご協力をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

さて、今年はいよいよ、協会にとりましては「看護会館・看護研修センター」が竣工し、8月から新会館で活動開始いたします。

連盟会員の皆様におかれましては、新たな政治家の誕生を、看護職能の代表を国政に送り、看護界の課題を多角的な視点から、また多様な方法で解決してゆかなければなりません。

昨年7月、保健師助産師看護師法の一部改正並びに看護師等の人材確保の促進に関する法律の一部改正が行われました。これに伴って厚生労働省においては、新人看護職員研修ガイドラインを作成する等、4月実施に向けて進められている他、チーム医療の推進を図るために医師と看護師等の役割分担、つまり看護師等の専門性を明確にするとともに、一層役割を拡大していく検討等が進められ、多大な期待が寄せられています。

これを契機に、私達も自ら選んだこの職業の社会的地位向上をめざして、お互いの活動を尊重・支援し合い活動してまいりたいと思います。

会員皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

ステップ開催報告

「たかがい恵美子と未来を創る会」

主旨

たかがい恵美子と未来を創る会の中心となる具体的な活動を支部毎に行う決起集会である。

やりがいを、いきがいを、確かに感じながら暮らせる成熟社会をめざして

さあ、未来への一歩をふみだそう!

やりがい、
いきがい。
たかがい!



たかがい恵美子の基本姿勢

- “生活者を一番に尊重すること”
- 実感できる政治を実行するために
- “つねにオープンに問い合わせること”
- 透明性の高い政策づくりのために
- “困難に立ち向かう勇気を持つこと”
- 冷静かつ大胆に前進するために

混沌とした社会の中で、未来への不安を感じる日々。こんな時代に人は、ちょっと先を照らしてくれる確かな灯りを求めています。私はそんな「**確かな灯り**」になりたいと考えています。

※たかがい恵美子と未来を創る会パンフレットより抜粋

たかがい恵美子応援ブログはじめました!!

バナーをクリック

PCで検索

福島県看護連盟

(検索)

→ HPへ



携帯からは
こちら



県北地区

県北地区幹事 齋藤 多美子



県北地区をかわきりに、たかがい恵美子ステップが開催されました。早朝より、6か所の施設等を精力的に訪問され、278名の方々にお会いしました。現場を視察し、一人ひとりに言葉をかけられ生の声に耳を傾けておられました。

午後は、107名の参加者に疲れも見せず、魅力的な「たかがいオーラ」を醸し出した講演に、聴講者も感銘を受けていました。これから高齢化社会を担う看護職の働く環境や新人教育、外来・手術室看護基準の制度改革の必要性を力説しておられました。

参加者からは、力強いたかがいさんの言葉に、看護政策には是非「たかがいさんが必要だ!」との声が聞かれました。安心して自分らしく生きられる環境作りや仕事とのバランスの取れる仕組み等の看護制度変革にはたかがいさんを応援する必要性を感じた日々でした。

看護制度の確立と看護の質を高めて下さる方と確信して、県北支部一同、継続して「たかがい恵美子さん」を支援したいと考えます。

ステップ開催に当たり、ご協力頂きました会員・各病院、施設・しゃくなげ支部・役員の皆様に感謝致します。

県南地区

県南地区幹事 草野 美智子



県南第1支部と第2支部、須賀川支部の3支部合同にて、一人でも多くの看護職員に「たかがい恵美子さん」に会っていただきたいと、綿密な打合せを重ね、目標を200名の会員が、たかがい恵美子さんと握手が出来るとし、10月30日8時30分施設訪問から開始しました。仕事の合間の厳しい時間帯にもかかわらず、どの施設でも、大勢の出迎えあり、病棟毎の訪問や、病院長・事務長さんを交えて懇談会になったりと、県南地区13施設を訪問し「たかがい恵美子さん」と「固い決意」と「温かい支援」の握手をして、記念写真に収まった数は、331名でした。夜はホテルニュー日活にて、「たかがい恵美子と未来を語る集い」を開催しました。たかがい恵美子さんは、看護界の組織代表にふさわしく看護・介護・福祉を考える政治の在り方を熱く語ってくださいました。参加者の中には、「誰が選挙に勝っても何も変わらない」と思いました。今まで一度も選挙に行ったことが無かったが顔を見て、話を聞いて、握手

もして、今回は初めて、たかがい恵美子さんを政界に送りたいと思いました。」と話してくれました。集会には180名が参加し、受付から会場係、イベントなど、多くの青年部が明るくキビキビと対応していました。又、多くの職員がたかがい恵美子さんに会える機会を一生懸命作ってくださった各施設の看護部責任者の皆様に感謝しております。次の課題は参議院選挙まで残る数か月で「たかがい恵美子」の名前をどれだけ広げができるかと思っています。この勢いを持続させ、後援会作りに力を入れて行きたいと考えております。

会津地区

会津地区幹事 小林 佳世子

平成21年10月31日、11月1日会津地区において、たかがい恵美子候補予定者を知つもらう目的でステップ研修を開催した。初日は主に施設訪問を行った。約200名の看護師と直接会い、国政に対する意気込みや考えを話した。

2日目は、ワシントンホテルで各病院の連絡員を対象にステップ研修を行い、その中で、20年後の社会状況は確実に高齢者が増え、若い働き手が少ない社会になること。地元で働きたくても、看護師の働き場所はあっても配偶者の働き場所がないため地元に戻れないという状況が身近に自分たちの地域に迫っていること。そして、その20年後はすぐにやってくる。その時までに社会福祉を支えている看護師たちの労働環境を整えておかなければならないことをわかりやすく話された。出席者は話に共感しながら真剣に聞き入っていた。

最後に出席者全員で「会津磐梯山」を踊り、和やかな中「たかがい恵美子」候補の応援を全員で唱和し、意識を高め研修会を終了した。



たかがい恵美子さんは
右記の日程で
福島県を訪問します。

訪問予定日	訪問地区等	訪問予定日	訪問地区等
平成22年3月20日(土)	県 中	平成22年4月28日(水)	県 中
平成22年3月21日(日)	ボナビワークショップ	平成22年4月29日(木)	県 北
平成22年3月22日(月)	いわき		

国会見学報告

期日 平成21年11月19日(木) 参加人数 69名

21年度活動計画の一環として国会見学を実施した。県内各地区より会員69名が参加し、好評のうちに実施することができた。国会見学前に、清水連盟会長はじめ、看護の代表議員の皆さまから歓迎のご挨拶をいただき、あらためて看護と政治の関係を認識することができた。



福島県選出の岩城光英参議院議員のごあいさつ



参観ホールにて(中通り) 多忙な時間をさいて南野知恵子参議院議員のごあいさつ



あべ俊子議員の力強いごあいさつ



浅草寺でたかがい恵美子さんの必勝を願った



参観ホールにて(会津・浜通り)

「雨の国會議事堂」

済生会川俣病院 総看護師長 平田 憲子

朝6時福島西口を出発し、各所から合流した総勢69名が3台のバスで国會議事堂へと向かった。結構若者の参加が多くうれしかった。会長と橋本さんのアナウンスが車内の沈黙を時折破りながら着いた東京の空は、暗く冷たい雨が降っていた。雨の議事堂前のみごとな庭園が私たちを迎えてくれた。入口付近の広間で、清水嘉与子日本看護連盟会長、南野知恵子参議院議員・あべ俊子衆議院議員、そして岩城光英参議院議員のお話を伺ったが、なにやらその日の国会内は騒然としているらしく、私達にもその緊張が伝わった。来年の参院選には何としてもたかがい氏を当選させようと、皆で更に意を決した。議事堂は、大正9年から17年間を費やし、日本中の木と石をふんだんに使った日本の職人の手で作られた建物で、じっと日本の歴史を包み込んできたやさしさがあった。モダンな内装と色調、そしてそっと触れてみた壁や床は堂々としていて、誇りを感じた。帰路の雨の浅草のとある店のおしるこは、なんともおいしくて、体を暖めてくれた。きっとこの日の夜は、福島のあちこちでおみやげの雷おこしがガリガリと鳴ったに違いない。その日から、テレビの国会の画面が気になります。

県別会議報告

期日 平成21年9月7日(月) 参加人数 184名

「平成21年度都道府県別会議報告」

幹事長 本内 敦子



去る9月7日に郡山市労働福祉会館において、都道府県別会議が開催されました。日本看護連盟の須藤利恵子副会長はじめ県役員、支部長含め42名が出席しました。日本看護連盟からはたかがい恵美子選挙関係の経過報告として、たかがい恵美子HOPの参加人数が発表されました。全国参加人数は、10,268名で福島県は184名でした。次に看護政策推進に関するアンケート集計結果の報告がありました。6月末の調査では、回収率が全体で78%と低く、その中の「たかがい恵美子さんを知っていますか」という質問に対して知っていると答えた会員は、全国平均で41.56%、福島県は52.6%となり低い数値でした。次回のアンケート調査はステップ終了後に実施しますので、たかがい恵美子さんの知名度がどのくらいアップできるかが問題です。第22回参議院議員選挙対策については、確実な後援会名簿集めやメールアドレス登録について論議されました。最後に須藤副会長より、「福島県は支部活動を組織的位置づけした活動をしている。選挙が近くなると施設連絡員、病棟連絡員、青年部委員の役割は大きいので福島県は具体的に活動できる体制ができている。基礎研修が80~100%に達しており、さらにたかがい恵美子さんを知ってもらう研修会を継続的に実施している」と評価さらなる活動への期待を寄せておられました。午後1時30分からは須藤副会長の講演「安心して活動するために」が開催されました。内容は看護連盟の目的とする政治活動と選挙活動の違いや、文書類の取り扱い、施設内での伝達などについてわかりやすく、これから連盟活動に大いに役立つ研修会でした。

会員の窓

あおぞら 会津中央病院

A O Z O R A

会津中央病院
看護部長 佐藤 志保子



平成20年3月より、新棟建設工事及び新館改装工事に着手し、平成21年6月に新棟が完成致しました。患者さんが治療に専念できる環境作りに力を入れた建設になりました。

視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚の5感に響く空間を取り入れ、従来のイメージを感じさせない心と体に伝わる「おもてなし」ができる空間が設けられています。それから新棟には60床の個室が作られました。近年、個室の需要は高くなっています。欧米では良くみられていますが、当院でも入院しながら仕事ができるよう、部屋の工夫やインターネット端末を完備し、患者さんに満足していただけるよう、対応に当たっています。またこの個室棟には、専属の看護師をマネジャーに置き、入院生活のお世話や相談に当たり、心のケアにも取り組んでいます。看護部も「やさしさ、思いやりの心が伝わる看護」をモットーに患者様の期待に対応できるよう、一丸となって努力しているところです。